

静岡県連・40周年記念山行報告書

年月日	2005年10月1日(土・晴)	報告者	裾野麗峰・後藤隆徳
山名	伊豆・十郎左エ門(953.0m)		
2万5千図	湯ヶ野		
体力度=普通 技術度=普通 藪漕度=上り下りである 道標=全くない 展望度=富士山が見える 三角点=三等三角点 トイレ=登山口にはない 携帯=○			
伊豆の怪峰に上る			
コースと タイム	湯ヶ野—大鍋川—380mの橋8:20—大鍋川支流—十郎左エ門北のコル—十郎左エ門11:00~12:00—東尾根—橋14:30		
標高差	上り=大鍋川380mの橋~十郎左エ門953m=約573m 下り=同上		
参加者	CL・後藤隆徳、加藤秀子、嶋本五十鈴		

前回は会の10周年記念山行で北の桜沢から上った。その時東尾根を下ったが、大鍋川がなかなかいい感じで次回はここを上りたいと考えていた。

車で天城峠を越え、湯ヶ野から大鍋川の林道を走る。入り口が少し分かり難い。2万5千図の標高191mで人家は終わった。ダートの林道を更に行くと、標高約380mに橋がある。大鍋川支流に架かる橋だ。駐車場はある。ここが今回の出発点。支流を登山靴で遡る。水は多くないので問題は無い。時々、面白い滝もある。ちょっとした岩登りは楽しめる。

標高約450mにもう一つ橋がある。林道はここまで来ているが車は厳しい。橋を渡った右に仕事道がある。これを辿れば十郎左エ門・北のコルに出る。今回は沢を行く。やや荒れた沢を行くと標高約650mで左から沢が合流する。間に西に延びるのが東尾根で下山はここを利用する。沢が荒れ気味なので左岸に逃げると先程の仕事道がある。前回もここを通った。

上りきると十郎左エ門・北のコルに出る。尾根はまあまあ踏まれている。右手には大きなブナ、それとシャクナゲが出てくる。ここから道と言うより「崖上り」となる。前回は酷い霧で往生したが、今日は快適だ。「崖」を上り終わると小さなピークで、その向こうが本峰。小さな山名表示板がある。展望は北に少し。富士山も見える。ここで昼食とする。頂上は停滞電話が利用できる。

東尾根を下る。地図ではピークから直に下っている様に見えるが来た道を少し下って右の尾根に入る。地図読みが難しい所だ。ここはポイントだ。東尾根は安全に下れるルートだ。快適にグングン下ると先程の標高650mで沢に降り立つ。沢に下り左岸を少し上ると、来る時に上った仕事道がある。これを下る。少しハッキリしない所もあるが問題なく下ると、二つ目の橋の脇に出る。ここから林道を下れば今朝出発した橋に出る。



